

2026年 沼津の医療課題解決のチャンス 東部地区の医療再編を 必ず推進します!

沼津を含む県東部エリアが
地域医療構想の推進地域に
指定されている今こそ
近隣市町の垣根を越えて
しっかり安定した
地域医療の設計図を
描くときです。

県東部(駿東田方圏域)には、中小規模病院が多く、設備やスタッフが分散しています。これからは、個々の病院単位で経営や人材育成を考えるのではなく、周りの市町と手を取り合う大きなチームになる仕組みが必要です。

私は、看護師/保健師として現場に立ち、医療シンクタンクで国の制度(医療政策)を提案する仕事に携わっています。専門的知見を活かし、私が責任をもって医療再編をリードします。



ずっと沼津でくらし、だから全力で頑張れます!

ずっとつづく『あたりまえ』を紡ぐ。

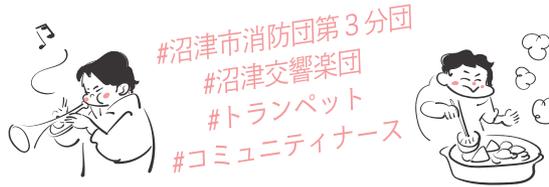
—いつまでも、だれにとっても、
くらし心地のいい沼津に—

鈴木秀(すずきしゅう)

1993年生まれ(32歳)、静岡市出身、沼津市在住。
看護師・保健師。2児の父。

- NPO 法人コミナスしずおか理事長
- 日本医療政策機構(シンクタンク)職員

国立看護大学校 卒業(看護師免許取得)
東京大学大学院 中退(保健師免許取得)
元静岡県職員(保健師)
就業を期に沼津市居住となる。シンクタンクに勤務し国内外の最新の医療福祉政策への知見を持つ。沼津市第3地区を拠点に地域共助の仕組みづくりを実践中。行政・研究機関・NPOという立場への経験を活かし即戦力として地域課題の解決に取り組みます。



鈴木しゅう後援会

410-0836

静岡県沼津市
吉田町22-12

代表 080-3640-5346

shu.suzuki.numazu@gmail.com

各種SNSリンク



討議資料

医療×テクノロジーで
もっとくらしやすい
沼津になる!

32歳

鈴木しゅう

医療シンクタンク職員
全力活動中!!



1 医療再編

～沼津および県東部の
医療に確かな設計図を～

2026年医療体制の転換期が訪れます 医療再編は大きなチャンス

沼津は、医療再編の推進地域に指定されています。将来にわたり**安定した医療体制**を構築するために今、議論が必要です。

再編を成功へ導く絶対条件は 医療空白地帯を作らない

再編を「削減」ではなく、**人材・資源を「最適化」**するチャンスと捉えます。病院・診療所の機能・役割を整理し、連携体制を作ること共倒れを防ぎます。

私にまかせてください！ 議論の先頭に立ちます

医療政策シンクタンクで医療体制に関する提言を行ってきた経験を生かし、医療再編の専門家として議論の先頭に立ち、市民の皆様利益になる医療再編を進めます。



みんなで
つくりましょう

ずっと安心できる、ワクワクできる

健康な沼津!



2 共助を再構築

～民間から新たな担い手を生みだし
強くて元気な地域づくりを～

コミュニティの形は変化しています 時代に合わせた共助の形へ

自治会・民生委員など地域共助組織の運営の担い手不足が深刻な問題です。少子高齢化が進む今、あたらしい**地域共助**の形が望まれています。

外部に任せられる部分は、任せる コミュニティ機能の再整理

人々の繋がりや支え合いがコミュニティをつくれます。外部委託や有志活動を活用しながら皆にとってラクなコミュニティを構築する必要があります。

実践家として 新しい担い手を共に育てます

NPO 法人理事長として私も学びながら地域共助の新しい担い手作りをしています。あなたの地域にも地域に関わりをもちたい住民・企業が必ずいます。

3 行政・政治DX

(デジタル改革)

～テクノロジー活用で行政・政治を
市民に寄り添う身近なものに～

テクノロジーを活用して 役所をもっとスマートに

窓口での手続きや職員の事務作業など、テクノロジーを活用することで効率化が可能です。生み出した時間でサポートが必要なお年寄りなどに手厚く対応が可能になります。

あなたの声を直接聞きます 政治をもっと身近に

普段の生活の中で政治や議会のことを考える時間はありませんが、きっとあなたも「こうなればいいのに」と思うことがあるはずです。テクノロジーを使って政治をわかりやすく、簡単に意見を伝えられる仕組みを整えます。